

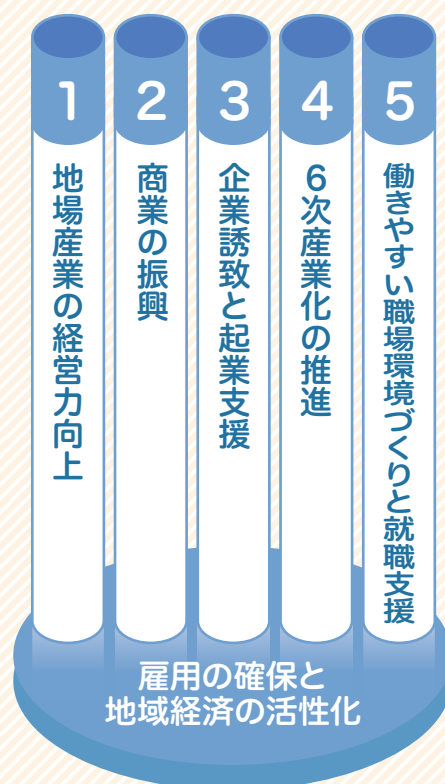
商工業・企業誘致・新産業

担当課：商工労政課、農林水産課、子ども支援課、福祉課

政策の基本方針

商工業の振興や企業誘致、新産業の育成により、雇用の場を創出し、地域経済の活性化を図ります。

- 地場産業の経営力向上を目指し、資金融資制度の利用促進や販路拡大・商品開発等を支援します。
- 暮らしの基盤となる商業の振興を目指し、空き店舗への新規出店の促進や、買物弱者対策など新商品・新サービスの開発を支援します。
- 地域資源を活用できる企業誘致を促進し、雇用の場を確保します。また、起業・創業を支援します。
- 6次産業化による付加価値の高い製品づくりを目指し、関係者の連携によりITを活用した販売システムの構築や加工品開発に取り組みます。
- 若者から高齢者まで、多様な仕事を確保するため、事業所と連携した労働環境の改善に取り組むとともに、若者の地元就職支援や高齢者の就業機会の確保を行います。



【誘致企業（旭工業(株)）の操業の様子】



【市内商店街（小浜）】

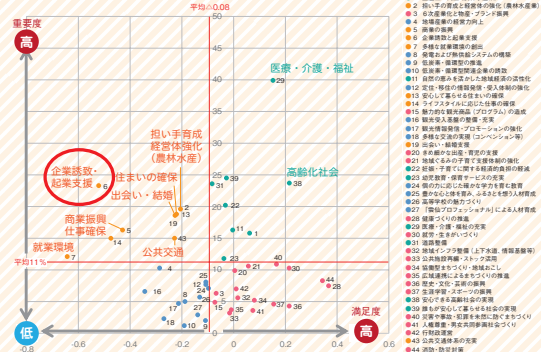


現 状 と 課 題

市民アンケート調査では
多くの市民が「企業誘致」を望んでいます。●市民アンケート調査で“最重要課題”の一つに位置づけられる
「企業誘致・起業支援」

平成28年2月に実施した市民アンケート調査では、「企業誘致と起業支援」に対する市民の満足度が低く、今後の最重要課題の一つとなっています。

【まちづくりの重要度・満足度】



出典：雲仙市総合戦略市民アンケート調査

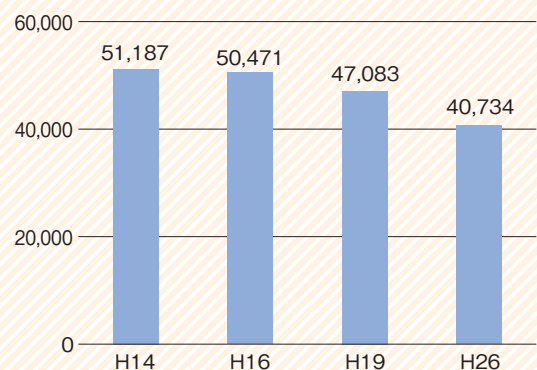
●停滞が続く本市の商業環境

本市の商業の事業所数及び従業者数、年間商品販売額はいずれも減少傾向にあります。

●増加傾向にある本市の工業

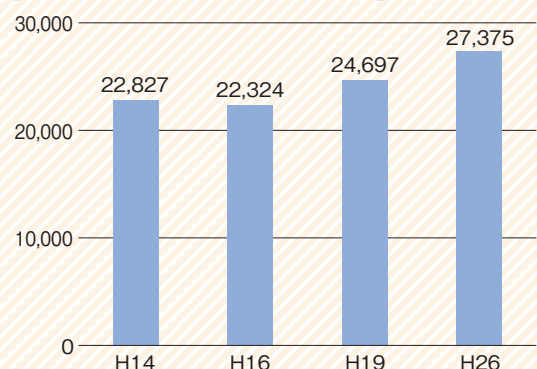
本市の工業の製造品出荷額等は増加傾向にあります。平成28年8月にはトヨタ自動車のシート関連部門を手掛ける旭工業(株)の操業が開始され、今後の雇用拡大が期待されます。一方で事業所数及び従業者数は減少傾向にあることから企業誘致を促進するためのインフラ整備が急務となっています。

【年間商品販売額の推移】 (百万円)



出典：商業統計

【製造品出荷額等の推移】 (百万円)



出典：工業統計

地場産業の経営力向上

(担当課：商工労政課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
中小企業振興資金・設備資金助成事業における融資実行額【千円／年】	78,367千円／年	—	87,000千円／年
中小企業振興資金・設備資金助成事業における融資実行件数【件／年】	24件／年	—	25件／年
●戦 製造事業所平均年間製造品出荷額【千円】	351,760千円 (H24工業統計)	394,805千円 (H29工業統計)	412,023千円 (H31工業統計)

具体的な取り組み

資金融資制度の利用促進

総合戦略

中小企業の設備資金や運転資金の融資及び融資資金の利子を助成することにより、経営の持続化・円滑化を図ります。

販路拡大・商品開発による経営力向上

総合戦略

国内外の販路拡大支援や新商品開発支援を行い、地場産業の収益力の向上に努めます。

主な事業

- 中小企業振興資金貸付事業
- 中小企業設備資金利子助成事業
- 産業サポート事業
- 商工業活性化推進事業

施策
2

商業の振興

(担当課：商工労政課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
戦 新規出店数（起業・創業により商工会に加入した事業所数） （H26以降の累計）【件】	10件	60件	80件
戦 卸売・小売事業所 平均年間販売額【千円】	66,507千円 （H24商業統計）	66,507千円 （H28経済センサス活動調査）	66,507千円 （H31経済センサス活動調査）

具体的な取り組み

商業の活性化

総合戦略

雲仙市商工会との連携を通じて、小規模事業者の経営改善・指導を行うとともに、空き店舗を活用するなど新規出店を促進し、また、商店の持続化に取り組むことにより商業の活性化を図ります。

新商品・新サービスの開発等への支援

地域資源を活かした新商品の開発や買物弱者対策など、新サービスの開発等を支援します。

主な事業

- 商工会小規模事業経営支援事業
- 商工業活性化推進事業

(担当課：商工労政課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
戦 企業誘致件数 (H26以降の累計) 【件】	7件 ※市発足からの 累計	12件	14件
戦 創業支援相談件数【件／年】	—	70件／年	70件／年
誘致企業雇用者数【人 (累計)】	214人 (累計)	—	434人 (累計)

具体的な取り組み

企業誘致の推進

総合戦略

再生可能エネルギー関連企業や豊かな農水産物を活用した食品関連産業の企業誘致、海の玄関口である多比良港を活かした産業機械関連・物流関連産業の誘致など、本市の強みを活かした企業誘致に強力に取り組むとともに、企業誘致に必要なインフラ^{※1}等の整備を進めます。

起業・創業支援

総合戦略

創業支援計画^{※2}に基づき関係機関との連携を図りながら、創業相談窓口の開設や創業セミナー等を開催するとともに、起業や創業を支援することにより、事業者の育成、経営の多角化を図ります。

主な事業

- 工場等設置奨励金支給事業
- 産業サポート事業
- 企業誘致促進事業
- 商工業活性化推進事業

※1 インフラ／一般に、生活や経済活動を支える基盤となるもろもろの施設を指す。具体的には、学校、病院、道路、橋りょう、鉄道、港湾施設、上下水道、電気ガスなど。

※2 創業支援計画／産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、市が創業支援事業者と連携し策定する。本市では平成27年に策定し、国の認定を受けている。

施策
4

6次産業化の推進

(担当課：農林水産課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
6次産業化法に基づく認定事業者数 【事業者(延べ)】	4事業者 (延べ)	—	10事業者 (延べ)
消費者と生産者との意見交換会の開催 【件/年】	—	—	12件/年

具体的な取り組み

6次産業化の推進

農林水産業従事者が生産したものを売るだけのスタイルから脱却するため、生産者、農業協同組合、漁業協同組合等の連携による加工品の開発を促進します。また、商工会の協力を得ながら、他産業との連携を促進し、蓄積された加工技術や知見を活かした新たな加工品の開発を推進し、農林水産物価値の向上や新たな地域雇用の創出を図ります。

さらに、異業種での交流会の開催などを通じて、6次産業化の取り組みを促す環境づくりを進めます。

主な事業

- 農水産加工品開発支援事業
- 6次産業推進事業

働きやすい職場環境づくりと就職支援

(担当課： 商工労政課、子ども支援課、福祉課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
戦 ワーク・ライフ・バランス ^{※1} や処遇改善に取り組んでいる企業数【件】	—	5件	5件
戦 市内高校に通う生徒の市内企業への就職数【人】	17人	22人	22人
戦 職場環境改善、研修実施企業数【件】	—	20件	20件

具体的な取り組み

働きやすい職場環境づくり

総合戦略

企業や職場の労働環境等を改善します。また、企業活動に必要な研修、資格取得を促進することで、従業員の定着を図ります。さらには、子育て世代の生活と仕事を両立する職場環境づくりに取り組む事業所等に支援を行います。

若者の地元就職支援

総合戦略

学校卒業者に対し、就業体験等を実施し、地域の産業やそこに働く人々の素晴らしさや大切さを発見するとともに、地元に対する愛着や誇りを持つことにつなげることにより、学校卒業者の地元就職を促進します。また、高校生に対し、国・県と連携して合同企業面談会を実施するなど市内への就職支援を行い労働人口の確保、人口流出を防止します。

高齢者の就業機会の確保

総合戦略

高齢者の就業を推進するため、シルバー人材センターの円滑な運営への支援を行うほか、企業等における高齢者の雇用促進、中高年の再就職の支援等を行います。

主な事業

- 技術習得支援研修制度
- 魅力ある職場づくり支援事業
- 高齢者就業機会確保（シルバー人材センター）事業

※1 ワーク・ライフ・バランス／一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる状態。

観光・交流

担当課：観光物産課、建築課、総合窓口課、政策企画課、生涯学習課

政策の基本方針

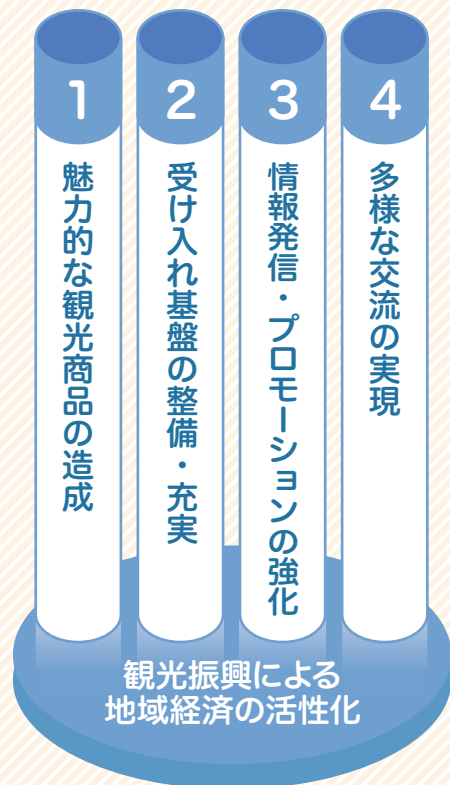
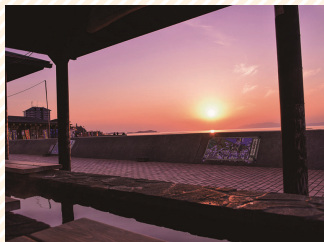
自然環境や歴史文化など地域資源を活用した観光振興により、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化を図ります。

- ジオパーク^{※1}や温泉など、地域資源を活かした付加価値の高い観光商品を造成します。
- 観光地域づくりのマネジメント組織となるDMO^{※2}の育成・強化を図るとともに、公衆無線LANや宿泊施設、観光ガイド、公共交通による移動手段などのハード・ソフト^{※3}両面の受け入れ基盤の整備を進めます。
- 国内外からの観光客の誘致促進に向け、島原半島3市が一体となったセールス活動や情報発信を行います。
- 多様な交流を創出するコンベンション^{※4}の誘致のほか、大学連携、国内・国際交流事業を展開します。

【雲仙地獄】



【ほっとふっと105】



※1 ジオパーク／「地球：ジオ（Geo）」と「公園：パーク（Park）」を組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地域遺産と人々のかかわりを利用して地域社会を維持し、地域遺産を守るしくみや場所のこと。島原半島ジオパークは平成21年にユネスコの支援で設立された世界ジオパークネットワーク（GGN）に認定された地域。

※2 DMO／Destination Management/Marketing Organization の略で、様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、観光戦略など地域が主体となって行う観光まちづくりの推進主体のこと。

※3 ハード・ソフト／ハードは、モノ（目に見える形で提供できるもの）を作る業務、ソフトは、サービスなどの役務（形として残らないもの）を提供する業務。

※4 コンベンション／会議、集会、大会などのことであり、誘致することにより、雲仙市の知名度の向上、地域経済への波及効果などが期待される。

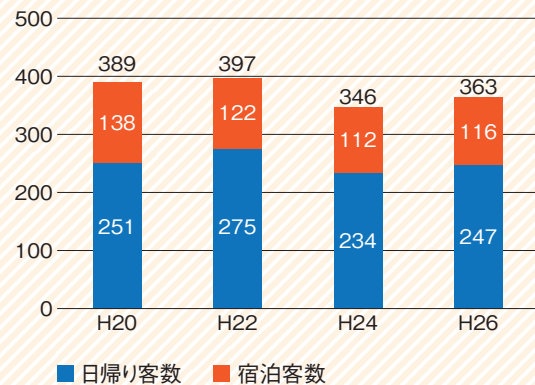
現 状 と 課 題

観光客数は年350万人前後。 滞在型観光への転換が求められています。

●観光客数は350万人前後で推移

本市では、長崎県観光連盟や島原半島観光連盟等と連携し観光客の誘致活動を行っています。観光客数は350万人前後で、日帰り客と宿泊客の割合は概ね7:3と日帰り客が多い状況です。今後は経済効果が大きい宿泊型観光への転換が求められています。

【観光客数の推移】 (万人)

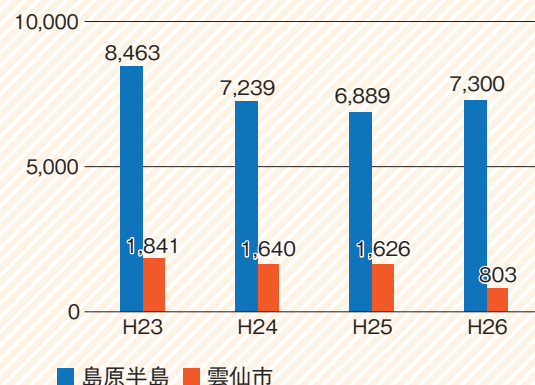


出典：長崎県観光統計

●体験型観光参加者数の推移

本市では、島原半島観光連盟と連携し、農業体験など体験型観光※1プログラムを実施していますが、島原半島全体から見ると本市における参加者数は少ない状況にあります。今後は観光素材の発掘や新たなプログラムの造成を行い、魅力向上につなげていきます。

【体験型観光参加者数の推移】 (人)



出典：島原半島観光連盟

●国内・国際交流事業の展開

本市では、韓国求礼(クレ)郡、鹿児島県霧島市と姉妹都市結縁を締結し、相互交流を行っています。また、「天正遣欧少年使節」に関連する6市町間(長崎県雲仙市、大村市、西海市、波佐見町、南島原市、宮崎県西都市)においても中学生による交流事業を行っています。

【韓国求礼郡との姉妹都市交流の様子】



※1 体験型観光／自然、景観、歴史、文化、地場産業など、豊かな地域資源を有効に活用した体験を行う観光。

施策
1

魅力的な観光商品の造成

(担当課：観光物産課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
体験型観光プログラム数【件／年】	33件／年	—	45件／年
体験型観光の参加者数【人／年】	803人／年	—	1,500人／年

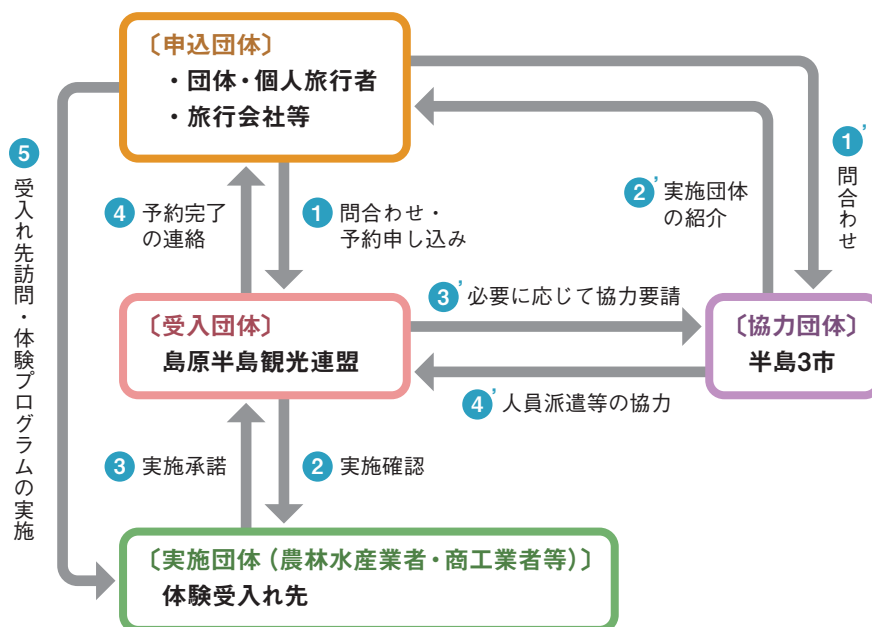
具体的な取り組み

着地型観光※1の推進

総合戦略

島原半島観光連盟と連携し、ジオパークや温泉など、本市の強みである自然環境や歴史等の地域資源を活かした観光商品を造成し、交流人口の拡大に努めます。

【体験型観光プログラム実施の流れ】



主な事業

- ジオパーク推進事業
- 体験型観光推進事業

※1 着地型観光／旅行者を受け入れる側の地域（着地）側が、その地域でおすすめの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する形態。

受け入れ基盤の整備・充実

(担当課: 観光物産課、建築課、総合窓口課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
ホテル・旅館の大規模建築物の耐震化件数【件(延べ)】	0件(延べ)	—	7件(延べ)
戦 観光客延数【千人(延べ)／年】	3,629千人(延べ)／年	4,355千人(延べ)／年	4,645千人(延べ)／年
戦 宿泊者の観光消費額 ^{※1} 【億円／年】	150億円／年	192億円／年	213億円／年

具体的な取り組み

観光DMOの育成・強化 総合戦略

島原半島観光連盟の機能強化による観光DMO（地域全体の観光をマネジメントする仕組み・組織）の育成・強化を図るとともに、観光市場の調査を行い、観光客のニーズに応じた、島原半島の広域観光ルートの開発による観光客の周遊を促進します。

受入環境の整備 総合戦略

無料公衆無線LANや多言語看板等の受入環境の整備を推進し、外国人観光客の誘致強化を図ります。

観光ガイド等の観光人材の育成

着地型観光^{※2}の推進を図るため、観光ガイド、インストラクター等の観光人材の育成と技術向上に努めるとともに、市民の「おもてなし力」の向上に取り組みます。

魅力ある宿泊施設整備への支援 総合戦略

ホテル・旅館の建物について、安全面の強化に向けた大規模建築物耐震化への支援を行うとともに、現在の旅行者ニーズの対応に向けた施設整備等への有効な支援策についての検討を進めます。

※1 観光消費額／旅行期間中に、旅行・観光活動のために観光客が観光地において行う消費金額、交通、宿泊、飲食、みやげ、娯楽等の消費金額。

※2 着地型観光／旅行者を受け入れる側の地域（着地）側が、その地域でおすすめの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムを企画・運営する形態。

交通アクセスの向上

総合戦略

長崎空港や諫早駅等の交通結節点からのアクセス^{※3}利便性を強化するため、道路網の整備や利便性の高い公共交通体系の構築等に努めます。また、九州新幹線西九州ルートの開業を見据え、観光列車の活用など県南地域（雲仙市、島原市、南島原市及び諫早市）の広域的な公共交通の活性化と観光連携を強化します。

主な事業

- 大規模建築物耐震化事業
- 長崎県南地域における地域公共交通再編実施計画策定事業

※3 アクセス／交通や連絡の便。情報関係では、情報に接近し利用することの意味。

情報発信・プロモーションの強化

(担当課：観光物産課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
戦 延宿泊者数【千人(延べ)／年】	621千人 (延べ)／年	745千人 (延べ)／年	805千人 (延べ)／年
戦 外国人延宿泊者数 【千人(延べ)／年】	16千人 (延べ)／年	39千人 (延べ)／年	91千人 (延べ)／年
戦 修学旅行延宿泊者数 【千人(延べ)／年】	26千人 (延べ)／年	31千人 (延べ)／年	33千人 (延べ)／年

具体的な取り組み

国内プロモーション活動の強化

総合戦略

福岡や関東・関西等の大都市圏において、島原半島3市が一体となり、また、九州観光推進機構や長崎県観光連盟、島原半島観光連盟と連携し、観光情報説明会やセールス活動、旅行会社招聘、SNS^{※1}やマスメディア等を活用したPR等を積極的に行い、宿泊客の増加及び観光消費額の拡大を図ります。

外国人観光客(インバウンド)誘致プロモーション活動の強化

総合戦略

韓国・台湾・香港・中国等の東アジア、タイ・シンガポール等の東南アジアを中心に、旅行会社やマスコミへのセールス活動や情報発信、旅行会社招聘等を積極的に行います。

主な事業

- 国内誘致事業
- 修学旅行誘致事業
- 海外宣伝誘致事業

※1 SNS／Social Networking Serviceの略。社会的ネットワークの構築を促進し、特定のテーマを目的に集まったものがWeb上で情報交換しあう仕組み。

施策 4

多様な交流の実現

(担当課：観光物産課、政策企画課、生涯学習課)

主な成果指標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H33)
戦 大学・専門学校(学生)等との連携事業数(年間)【事業】	3事業	5事業	6事業
姉妹都市等による国内・国外交流事業数【事業/年】	4事業/年	—	4事業/年

具体的な取り組み

コンベンションの誘致 総合戦略

交流人口の拡大を図るため、雲仙温泉観光協会や小浜温泉観光協会、長崎県観光連盟、島原半島観光連盟等と連携し、各種の会議・大会やスポーツコンベンション等の誘致強化に努めます。

大学連携による交流人口の拡大 総合戦略

大学や専門学校の学生等を対象に、学校と企業、団体等との連携による地場産業や多様な資源を活かし、インターンシップ^{※1}活動・サービslラーニング^{※2}等の交流を促進し、市への移住・定住人口の増加、新たな産業の創出などのきっかけをつくり、地域の活性化につなげます。

国内・国際交流の推進

観光姉妹都市である鹿児島県霧島市、韓国の求礼郡や天正遣欧少年使節に関係する地域間の交流活動を通して、経済、スポーツ、文化、人材など幅広い分野での振興を図ります。

また、外国語講座や異文化理解講座を通じて、市民の国際理解の増進と国際感覚豊かな人材の育成に努めます。

主な事業

- 雲仙市コンベンション開催助成事業
- スポーツ合宿等誘致促進事業
- 大学連携事業
- 国際交流事業
- 国際交流員招致事業

※1 インターンシップ／学生等が在学中に一定期間企業等において就業体験を行うこと。

※2 サービスラーニング／1980年からアメリカで始まった教育活動の一つであり、「社会活動を通して市民性を育む学習」のこと。